

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				所管課		生涯学習課		担当班		文化振興班	
39600 文化財保護事務費				会計		款		項		目	
(2) (文化財看板の整備を除く)				科目		10		4		1	
基本施策 13 芸術文化の振興・伝統文化の保存				根拠法令		文化財保護法、指定文化財修理復旧事業補助要綱、旭市補助金交付規則					
施策の展開 27 文化財の保護				戦略事業		132 文化財保存事業					
施策の展開				戦略事業		133 文化財保存・継承団体助成					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査、整理及び報告書作成 ・市所管の文化財の維持管理(くん蒸、建物賃貸等) ・指定文化財の修理、復旧、維持管理の助成(事業費が10万円以上について事業費の2分の1以内を助成〔上限30万円〕)。後継者育成のための助成(後継者に2～4万円を助成)。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
昭和25年制定の文化財保護法に準拠		埋蔵文化財:事業者からの要望増により、平成24年度から文化庁通達事項(平成10年度)、近隣市の実施状況を考慮し、庁内協議により確認調査は公費で実施。整理作業場所の確保が困難。補助事業:不況により所有者・管理者の維持負担が困難。保存措置の必要性があるものが目立つ。	
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
		指定文化財の所有者、開発事業者からは補助事業、埋蔵文化財調査とも公費を求める要望が多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円
1.需用費及び役務費	243	文化財写真現像、調査報告書の印刷等
2.委託料	277	害虫等防除、文化財調査等
3.借上料	550	重機借上、建物賃貸借、施設借上
4.負担金及び補助金	289	文化財保存事業補助金等
5.その他(報酬・賃金等)	502	審議会委員報酬、作業員賃金等
② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	555	埋蔵文化財緊急調査費
2.都道府県支出金	139	埋蔵文化財助成事業補助金
3.地方債	0	
4.その他	0	

		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
事業費	1. 需用費及び役務費	千円	113	576	255	243	380
	2. 委託料	千円	175	122	190	277	126
	3. 借上料	千円	602	638	612	550	562
	4. 負担金及び補助金	千円	383	888	362	289	289
	5. その他(報酬・賃金等)	千円	1,207	499	504	502	961
事業費計(A)	事業費計(A)	千円	2,480	2,723	1,923	1,861	2,318
	1. 国庫支出金	千円	635	695	555	555	600
	2. 都道府県支出金	千円	233	173	138	139	150
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
特定財源	5. 一般財源	千円	1,612	1,855	1,230	1,167	1,568

前年度増減理由	重機借上料、文化財補助事業数減少に伴う補助金減のため
---------	----------------------------

従事職員数	常時	1人	最大		人	×		日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	--	---	---	--	---	---	----	----

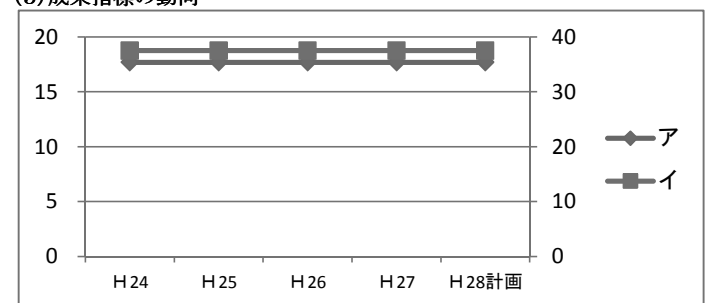
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
27年度実績(27年度に行った主な活動)		ア 土木工事届出・通知件数		件	55	59	60	74	74
・遺跡の発掘調査		イ 発掘調査件数		件	7	3	3	4	3
・文化財のくん蒸									
・文化財修理、復旧、維持管理費等助成									
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
対象意図	指定文化財	ア	発表の場等で積極的に公開された市内文化財の割合(公開件数/130件)	%	17.7	17.7	17.7	17.7	17.7
	適正な保存及び活用により、指定文化財が公開及び伝承される。								
対象意図	埋蔵文化財	イ	埋蔵文化財保存施設のくん蒸割合(くん蒸施設箇所/保存施設箇所)	%	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5
	適正に保護・保存及び継承される。								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果優先度評価結果	コスト比率
	普通		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
	小さい		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況														
	☐完了☒順調☐概ね順調☐停滞☐実施困難														
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況														
	成果指標ア	成果指標	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度	
	成果指標イ	のタイプ	↘	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下		24年度	25年度	26年度	27年度	28計画		
	【コメント】 (低下の場合、その理由)														
	③ 今年度取組事項														
	(今年度新たに取り組む事項について記載)														
	今後の方向性														
☐拡大☐縮小☒現状維持☐廃止・休止☐見直し☐その他 ()															